

県内外のペタンク愛好者をつなぐ

彩の国ペタンク通信

VOL 10

発行者：埼玉県ペタンク協会

企画・編集：広報部（中村）

Tel・Fax：048-536-6939

omoikkirifatoj3@nexyzbb.ne.jp

第9回ペタンク競技規則講習会・技術講習会を開催

秩父市ペタンク連盟 大山 綱秀

平成24年4月15日(日)秩父市ペタンク連盟会員を中心とし競技規則、技術講習会が秩父市原谷公民館、原谷小学校グラウンドで開催されました。

講習会参加者42名が集い、午前9時15分より柳沢直利審判部長、今泉利明副審判部長により競技規則講習会が始まりました。講習内容は、参加者全員に平成24年度版『ペタンク競技規則』が配布され、第1条より事例を交え説明を受けました。講習の合間に質疑応答の時間が持たれ、またペーパーによる数項目のルールに関する簡単なテストも行われ、有意義な講習会となりました。後半は実技に移り、諸ルールを体験しながら解説を受け、12時30分に競技規則講習会が終了しました。

13時30分より場所を原谷小学校グラウンドに移し、井上まち子指導部長ほか指導部スタッフにより技術講習会が行われました。受講者36名を4班に分け、井上部長指導のもと基本的なポワンテ、ティール等の投球術を丁寧に分かり易く指導して頂きました。また、目標とする地点に数個のリングを置き、そこにボールを投げ入れて得点を競う指導は、技術の向上と共に、ゲーム感覚で取り組めるので受講者には大変好評でした。その後、講習の復習と成果を確認するため練習試合を行い、問題がある場合にはその都度指導を頂き、16時40分に全ての講習会が終了しました。



規則講習会の様子



技術講習会の様子(1)



技術講習会の様子(2)

多くの受講者から、今回の講習会を通じて競技ルール、試合での戦術、投球術等非常に勉強になったので、地元(町会)に帰り、多くの仲間にも成果を伝えながら練習に取り入れていくとのことでした。

今後も当連盟は、会員の技術向上とペタンク競技の普及に努力してまいります。

柳沢部長、井上部長他多くのスタッフの皆様には大変お忙しい中当地までお出で頂き、また懇切丁寧にご指導して頂き有り難うございました。

講習会等のお問い合わせは下記までお願いします：
 〒369-1105 埼玉県深谷市本田 128-2
指導部部长 井上まち子
 TEL：048-583-5115 Fax：048-583-5330

【埼玉県ペタンク協会：指導部紹介】

皆さんこんにちは！埼玉県ペタンク協会指導部です！！

私たち県指導部は部員8名、各地域へのペタンク普及活動やペタンク技術向上指導、そしてペタンク指導員の育成講習と24年度もメンバーが協力して、意欲的に活動していきます。

指導部員 井上まち子（部長）

多くのペタンク経験を生かし、楽しいペタンクから競技選手育成まで幅広く指導。

高橋憲次（副部長）

皆からの信頼も厚く、人を大切に、がモットー。
部の御意見番。

山名富喜（副部長）

ペタンク技術を常に細かく分析し、いかにやさしく伝えるか研究しています。

渡邊 真由美（部員）

子供の扱いはピカイチ！部員最年少20代。
指導部事務局で頑張っています。

吉澤 君代（部員）

気配り抜群！どんな時でも顔を出して協力。
なにより笑顔でペタンクを楽しんでいます。

宮城 修一（部員）

誰にでも丁寧な指導で好評です。
やさしさ抜群！

今泉 君子（部員）

見た目は少女、ペタンクでは強女？
経験豊富でなんでもOK。

内田 均（部員）

みんながペタンクを楽しんでくれたら最高！と常に思っています。笑顔が最高！

～～～指導の様子～～～



指導部の活動紹介

ペタンク指導資格者研修会を年3回（4月・8月・2月予定）、各地域からの要請でペタンク教室・講習会を年8回予定、また、「埼玉県子ども支援ネット；埼玉県県民生活部青少年課」にスポーツ支援団体としても登録し、活動の充実を図っています。

県内に公益社団法人日本ペタンク・ブール協会公認の指導員資格者47名があり、指導部と連携をとり合いながら多くの方達に、ペタンク競技で楽しい時間を提供できるように努めています。

笑顔あふれる松伏町の紹介

今年度、5月9日・6月5日の講習でお邪魔した松伏町の皆さんを紹介いたします！！

松伏町住民保険課の里見純庸課長さんの支援を頂き、松伏町ペタンク講習を実施して3年、担当の渋谷啓良さん、増田裕之さんのお骨折りで、各地域の老人クラブ6団体の多くの方たちが参加し楽しんでいます。そして、熱心な受講姿勢と明るく、やさしさあふれる雰囲気がかたまらない・・・。



里見課長さん！



準備運動





* サークルからバーを使って、投げ方の練習です。



実践練習

* なかなか上手いもんだよ！！

「上手ね～！すごいね～」と仲間の応援も声と拍手で！



渋谷さんと増田さんからの一言「皆さんの笑顔で元気なパワーに負けそうです！」

第8回松伏町ペタンク大会優勝
三上佐久子さん・小林善彦さん
「メンバーに恵まれ、チームワークの勝利です。初めて経験した練習の成果も出せました。」

ハート杯優勝
中山とく子さん・森越正司さん
「ペタンクにめぐり合い、週2回の練習がとても楽しいです。技術向上のため練習を井上指導部長さんや指導部員の方々に解り易く、楽しく教えていただきとても感謝しております。」



「ペタンクのまち 日本一をめざして」

秩父市長 久喜 邦康



私は医師の経験を生かし、市政の基本方針の一つとして、「安心できる医療と福祉の現実」を推進しています。そのためには、人と人との絆のもと、生涯にわたって健康で充実した生活を送るために、誰でも出来る軽スポーツやレクリエーション活動など、コミュニティを通じた市民主体の健康づくりが大変重要であると考えています。

ペタンクは、技術を高め勝利を目指す競技スポーツであることは言うまでもありませんが、出会いや交流の機会を求め、大勢の仲間と楽しむなど、個人の体力や技術力によって、いろいろな楽しみ方ができる生涯スポーツとして、健康づくりとコミュニティづくりの両方に有効な競技の一つであると考えています。

さて、秩父市は、平成8年頃から生涯スポーツの一環としてペタンクを取り入れてまいりました。平成17年には、秩父市は市町村合併があり、ペタンクは大きくなった地域の人々を結び付けるとともに、健康づくりの推進に欠かすことのできないものとなっているといえます。ペタンクの普及は、秩父市ペタンク連盟を中心に市内の各地域で講習会を行い、現在では愛好者が1000人を超えるほどとなり、埼玉県内でもトップクラスの競技人口と自負しております。

最近、あちらこちらの各町会の交流広場などで自治会の親睦行事として、試合や練習会を行っている光景が見られるようになりました。

市では、本年度から女子高校跡地のテニスコートをペタンク専用コートとして開放し、市民が手軽に楽しむ環境を整えました。また、競技の普及と地域住民の交流を目的に、今年で7回目を数える「市民ペタンク大会」を年一回開催して、ペタンクの普及に力を入れております。

しかしながら、更なる競技の普及には、全国規模の大会を誘致することが必要であると考えております。お陰様で、埼玉県ペタンク協会と秩父市ペタンク連盟の全面的な協力により、昨年度は関東北信越ペタンク選手権大会、そして、来年度は東日本ペタンク選手権大会を誘致することが出来ました。多くの全国規模の大会を開催することで、選手の交流や競技技術の向上など、地元愛好者の刺激となればと考えております。そして、全国大会を秩父市に誘致することで、益々ペタンクの普及に弾みを付け「ペタンク日本一のまち」を目指したいと考えています。

幸いに秩父市は、首都圏からも近く多様な歴史的・文化的資源と自然の景観に恵まれた風光明媚なところで、競技他、観光地として大勢の皆様楽しんで頂ければと思います。秩父市では、皆様が気持ち良くプレーでき、また来たいと思って頂けるように市を挙げてサポートしますので、どうぞ、よろしく願いいたします。

なお、今年度は、全国規模の大会はありませんが、3月31日(日)に「第2回秩父市長杯ペタンク大会」を開催いたしますので、大勢の方々が秩父市にお出で頂きますようご案内いたします。

大沼町ペタンク部の歩み

大沼町会長 大野一恵

私共秩父市においては、市民の健康維持管理を目的に、各町会にペタンク用具一式が配布されております。大沼町会では、この用具が暫く活用されておられませんでした。3、4年程前の市報で秩父市ペタンク大会が開催されるとの記事を機に町会有志に声を掛け、6チーム18名の方に参加してもらいました。ルールも投げ方も全く分からずに、早々に負けて戻って来ました。この時、「このまま解散してしまうのは惜しい、ペタンク部を発足し、週1、2回練習をしよう！」という大変前向きな良い結果となりました。現在20数名の部員達が毎日楽しみながら汗を流しております。今では大きな大会にも参加させてもらっております。そして、何よりもペタンクを通じ、多くの方との交流が生まれたことを大変有り難く思っております。これも、埼玉ペタンク協会皆様方のご指導、ご尽力の賜と深く感謝しております。

ベタンクジャパンオープンに参加して

坂戸市ベタンク協会 泉 恵美子

5月2～5日に淡路市で開催された第17回ベタンクジャパンオープンに、男子4名、女子6名が埼玉県より参加しました。5月1日早朝5:30に、車2台で出発し、圏央道～中央高速～阪神高速～明石海峡大橋を渡り、淡路島に着きました。早速、会場の「東浦サンパーク」に行ってみようと車を走らせ、PM3:00に会場到着。サツキが満開で海が一望できる高台にあり、眺望が良く、大きな船がゆっくりと航行しているのを眺めることができました。

5月2日朝から大雨の中、ティールの部の予選が始まりました。参加者は女子14名、男子27名。男女別で6・7・8・9mの4距離を各1投球し、それを1セットとし7名1組で順番に5セット20球を投球します。初めて参加する私は目の前の1投に集中できず、仲間の応援のお陰で5球目でやっと当たり、何とか決勝トーナメントへと進むことができました。女子は8名、男子は16名で、ベスト4が決まるまでノックアウト方式で対戦します。1球1球がとても速く感じられ、リードされて「もうだめ」と諦めかけ下を向いているときに、「がんばりんしゃいやー」と笑顔で声をかけられました。お話をしたこともない方でしたが、「はい」と小さく返事をしました。お陰様でベスト4に残れ、その方と一緒に戦うことができました。その方はティールの部で優勝されました。

5月3日 開会式の後、196チーム参加のダブルスの部予選、決勝トーナメントが行なわれました。埼玉からは5チームが参加しました。私は、井上まち子さんと組んで参加すると決まった時から、ポワンテを集中して練習してきました。対戦ごとに次々とテランを移動し、テランは同じ状態ではありませんでした。集中してボールを投げられるように自分自身の気持ちをコントロールしましたが、ボールの跳ね方や転がりまで制御しきれず、失敗するととても悔しく態度に出てしまいます。決勝Aトーナメント2回戦で、ものすごく速いテランに対応できず、ポワンテがくずれてしまいました。対戦相手のポワンテは、そのテランに合わせたのか、ボールをただ足元に落とすだけでピュットに近づけるのです。こんなんでいいの？と思いましたが、負けてしまいました。決勝Bトーナメントへ移り、気持ちを新たに戦った結果、準優勝することが出来ました。井上まち子さんの「ゲームの組み立て方、チームメートに対する配慮」を間近で体験することができ、「ベタンクを知り尽くしている」、とつくづく思いました。そして、このダブルスの部でとても印象に残ったことは、1メーヌに二人でティールを5回して、5点取ったことでした。

5月4日 ダブルスの部の準決勝と決勝、132チーム参加のトリプルの部予選リーグと決勝トーナメントが始まりました。埼玉からは3チームと長野・岡山・埼玉混成の1チームの計4チームが参加。私は佐々木さん・綾部さんの女性3人で頑張りました。佐々木さんの抜群のポワンテと綾部さんの見事なティールが決まり、翌5月5日の決勝Aトーナメント2回戦に進みました。雨の影響でディボットと草に阻まれた2回戦は、神様が助けてくれたかのような勝を拾いました。3回戦は岡山の男性3人の佐野さんチームで、最初は6点リードして勝てるかな(!?)と思いましたが、岡山チームの負けまいとする迫力と技術的にもすばらしい粘りで、最後に逆転され負けてしまいました。でも私たち3人は、笑顔が絶えないチームワークの良い試合ができたと思っています。成績は以下の通りです。



一緒に参加した埼玉の皆さんと撮った集合写真
 (後列左より稲垣、佐々木、井上、吉澤、泉、
 前列左より綾部、山名、吉澤、柴田 柳沢さん)

ティールの部	3位	井上まち子
	4位	泉 恵美子
	5位	稲垣政英
ダブルスの部 (Bトーナメント)	2位	井上まち子 泉 恵美子
トリプルの部 (Aトーナメント)	8位	井上まち子
		木下あけみ
		氏原理恵子
13位	佐々木久子	
	綾部栄子	
	泉 恵美子	

第27回日本ベタンク選手権大会埼玉県代表が決定!

10月に開催される公益社団法人日本ベタンク・ブール協会主催、第27回日本ベタンク選手権大会(会場:広島県尾道市)に向けての代表チームを決める埼玉県代表選考会が、15日(日)、16日(祝)の2日間に亘り、坂戸市のふるさと広場で行われました。参加チームは、女子が6チーム、男子が12チームでの総当たりのリーグ戦方式で行いました。15日は、女子の決勝リーグと、男子のリーグ戦第1日目が行われました。 昨年の日本選手権女子の部優勝者の井上まち子氏に審判長を、今泉君子氏に審判員、大澤廣美氏に本部スタッフをして頂き、難しい大会の運営を事業部の皆さん



と共に任せ致しました。河部会長の挨拶で始まりました。15日は、真夏の暑さを思わせる猛暑日でした。午後2時には、少なくとも照り返して40度は超えているのかと思われるような暑さで、くらくらするほどの日差しの中熱戦が繰り広げられました。どのチームも、日本選手権に出場したい!という気持ちがプレーに現れ、追いつ追われつの戦いでした。女子は、参加チームが6チームで、少数でしたが、県内の数多くの女子選手の中の精鋭だけに、質の高い試合を行っていました。

結果、女子の部で埼玉県代表の栄誉を見事に掴んだチームは、次の3チームです:



第1位 川本ジャンプ: 興津里子・清水葉子・渡辺真由美 [戦績4勝1敗]

「暑い中がんばれて、良かったです。広島の本大会も3人でがんばります。」



第2位 チャコリンズ: 佐々木久子・泉恵美子・綾部栄子 [戦績4勝1敗]

「暑い中、とにかく無になって臨もうと3人で決めて何とか代表を勝ち取りました。広島の本戦でも、がんばって参ります。」



第3位 大沼レディース: 大野一恵・大野好子・富田敏江 [戦績3勝2敗]

「思いがけない成績で、私たちがびっくりしています。無欲で頑張ってきます。」

なお、その後他県の棄権等により協会本部からの各県割当枠の中から埼玉県女子枠1増により、4位のチーム **埼玉 N.K.Y:** 根岸照子・小池良子・吉澤君代(戦績3勝2敗)が県代表として出場出来ることとなりました。皆さんの頑張りはお天道様が見ていました。おめでとうございます。

昨年度の第26回日本ベタンク選手権大会(徳島県)での**優勝チーム:** 井上まち子 今泉君子・大澤廣美(右の写真:埼玉県女子は2連覇です)を含め、女子の部県代表5チームは、健康管理に留意し、精進して、代表としての良いプレーをしてください。努力の報酬として、きっと良い結果を神か天がくださることでしょ。



協会 HP より

次に、男子の部が7月16日(日)に第2日目が行われ、代表3チームが決定しました。

第1日目に続き第2日も猛暑日となり、朝から強い日差しが選手たちの集中力と体力を奪っていましたが、選手たちはそれぞれ暑さ対策をしながら、第1日目の6試合につづき、2日目の5試合を戦い抜きました。

各支部協会の12チームがエントリーし、7月15、16日の2日間で、総当たりの11試合を行い、上位3チームが代表権を得るという過酷なものでした。勝ち数、直接対決、得失点差で判定しました。男子は、昨年同様もつれにもつれ、最終試合が終わるまで、代表は決まりませんでした。勝ち負けの結果は出ていますが、どの試合も死力を尽くした熱戦が展開されていました。暑さに集中がとぎれたチームや、流れが自分に来ているのにそれをうまく引き留めて得点に結びつけられなかったチームが、涙をのんでいるように見えました。

見事、代表権を勝ち取ったチームは、以下の3チームです。



第1位 過労吉: 清水 英央 ・ 柳澤 直利 ・ 今泉 利明 [戦績 9勝2敗]

「過労死寸前でした！できるだけ頑張ります。」



第2位 きじ丸&ダンディーズ: 中村 孝 ・ 宮城修一 ・ 泉 忠明 [戦績 8勝3敗]

「チームを結成して2回目の挑戦で、念願の出場権を獲得しました。3人の力の結実です。尾道では埼玉代表の名に恥じない試合をしたいと思います。歓喜！」



第3位 坂戸柳桜: 稲垣政英 ・ 山名富喜 ・ 高橋憲次 [戦績 8勝3敗]

「3人にとって今年最大の目標でした。広島で大暴れしてきたいと思います。」

この予選会を準備してくださった、事業部の皆さん、審判団の皆さん、そして、地元の坂戸市ベタンク協会の皆さん、良いテラン、良い環境をありがとうございました。男子の代表の皆さんは、昨年度の成績を是非超えてきてください。

第23回みさとレディースオープンベタンク大会を開催

6月10日(日)、9時より三郷公園内ベタンク専用コートにおいて、長野・茨城・千葉・東京・神奈川・埼玉県より30チームの精鋭が集まり、第23回みさとレディースオープンベタンク大会が開催されました。大会当日は、好天にも恵まれ、和気藹々のなか好ゲームや大接戦が展開され、結果、下記のチームが入賞致しました。

優勝	アイガンク	千葉・長野	郷間亜由美	氏原理恵子
準優勝	川本 B	埼玉	今泉 君子	井上まち子
第3位	ドットコム	東京	佐藤 幸子	前原 久美
第4位	カサブランカ	千葉	藤田 恵子	松村 慶子





アイガク



川本 B



ドットコム



カサブランカ

5位: 小室C、三郷サンフラワー、マーガレット、チームS&I

9位: 小室B、サザンカ、小室A、かいつぶちゃん、NDBコスモス2、みさとナゼシコ、埼玉カトレア、

ふれあい大会ブロック1位チーム: ノースファイブ、西原友寿会、ヒマワリA、ムッティ

男子ドライバー大会: 午前の部優勝 泉・田島 / 午後の部優勝 関口・鎌仲(平岡)

第12回東日本ベタンク選手権大会で埼玉の選手が活躍

7月28日(土)と29日(日)の2日間に亘って、長野県飯田市の長野県立飯田運動公園において、第12回東日本ベタンク選手権大会が行われました。この大会は、団体戦で、各チームは県代表という形を取っています。5人が1チームで、男女共に1名以上が混合してはなりません。ダブルス(2人)とトリプルス(3人)の試合を同時に行い、2勝すればすんなり勝ちとなりますが、1勝1敗の場合は、全員による一人1球のティール戦になります。5人投球して勝負がつかない場合は、サドンデスとなって、決着がつくまで交互に投球します。ちょうどサッカーのPK戦に似ています。また、予選からダブルスとトリプルのメンバーは固定せず10通りの組み合わせの内1つずつ使っていく、同じメンバーでは行わないというユニークな試合形式で行われました。変わった試合の方法ですが、やってみるとこれがかなか面白く、ムワークとチームのバランスがいいチームほど結果を出しているように見えました。ティール戦は、日頃からティールを練習している選手の方が有利であると思われませんが、サークルに入って、いざ1投で当てようとするとなかなか当たらず、大変苦戦をしているようでした。

新潟県、群馬県、栃木県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、開催地の長野県から31チームの参加で、予選ブロックは、A～Fの6ブロック6～5チームの総当たりで、1～3位までが決勝トーナメントに進出します。我が埼玉県からは以下の7チームが参加し、6チームが決勝トーナメントに進みました。

埼玉A 堀口三津司、今井幸治、柳澤正子、新井文夫、渡辺賢一

埼玉B 大山綱秀、内田均、松田美保子、内田武、大久保保進

埼玉C 泉忠明、泉恵美子、山名富喜、小池良子、綾部栄子

埼玉D 斉藤好友、中村孝、吉澤誠、吉澤君代、高鳥宣正

埼玉E 吉田茂子、清水葉子、中西明夫、柴田つね、清水恭子

埼玉F 佐々木久子、大澤廣美、井上まち子、今泉君子、清水英央

埼玉G 鎌仲宏、稲垣政英、井上勇司、鎌仲康子、岩瀬和夫



【最終結果】

総合3位 埼玉D 「初出場の人もいるので、3位はとても嬉しいです。」

1戦1戦危ない試合ばかりでした。」

総合5位 埼玉A 「ここまで、上がれるとは思っていませんでした。もう1つ勝ちたかったが、来年、秩父でこの大会があるので、より良い成績になるよう頑張ります！」

埼玉F 「優勝を目指していましたが、…残念です。」

来年度は、埼玉県の秩父市で開催されます。埼玉県ベタンク協会が主管になりますので、皆さんたくさん参加して、大会を盛り上げ、優勝に向けて頑張らしましょう。因みに、今大会の優勝は神奈川B、2位は千葉Eでした。詳しくは公益社団法人日本ベタンク・ブル協会のHPをご覧ください。